

2023年8月2日

株式会社日本政策金融公庫

## 第217回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2023年4～6月期実績、2023年7～9月期見通し)

**[概況] 信用保証利用企業の資金繰りは、やや改善している。  
～景況は、持ち直しの動きがみられる～**

- 【金融関連】○ 資金繰りD.I.は、▲11.4とマイナス幅がやや縮小した。  
○ 借入難易感D.I.は、▲6.8とマイナス幅がやや縮小した。  
○ 今期に借入を実施した企業の割合は、やや増加した。
- 【保証利用】○ 今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや減少した。  
○ 来期(2023年7～9月)における保証利用要請D.I.は、▲1.3と横ばいとなった。  
※ 保証利用要請D.I. ……金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。
- 【生産等】○ 生産・売上D.I.は、▲1.4とマイナス幅がやや縮小した。  
○ 採算D.I.は、▲12.0とマイナス幅がやや縮小した。

### 【特別調査】「経営環境において直面している課題及びメインバンクとの対話状況等について」

- 経営環境において直面している課題は、「エネルギー・原材料価格等の高騰」が53.3%と最も多い。
- メインバンクとの対話頻度(2023年1月～6月の間)は、「2～3回」が29.4%と最も割合が高い。
- メインバンクからのゼロゼロ融資の借入状況は、「既に返済を開始している」が50.9%、「今後、返済開始予定」は27.6%。
- メインバンクとの経営支援に関する相談状況は、「相談している」が30.2%、「相談していない」が69.8%。
- メインバンクに相談している、個々の経営支援に関する内容は、「補助金等の活用、申請」が70.9%と最も多い。

<調査の要領> 調査時点 2023年6月中旬  
調査対象 9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先  
16,000企業を対象としており、**回答企業の約81%が従業員20人以下の小規模企業**となっています。  
有効回答企業数 4,398企業  
回答率 27.5%

### <お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 保険情報室 Tel:03-3270-2384(担当:城所<sup>きどころ</sup>、今泉<sup>いちのき</sup>、櫛木、大羽)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

資料編につきましては[こちら](#)をご覧ください。

## (1) 資金繰り

・資金繰りD.I.は、▲11.4とマイナス幅がやや縮小した。  
来期の見通しについては、▲7.6となっている。

		2022/4-6	7-9	10-12	2023/1-3	4-6	7-9
資金繰りD.I.	実績	▲16.7	▲18.5	▲22.9	▲13.4	▲11.4	
	見通し	▲18.0	▲13.7	▲14.3	▲15.4	▲10.3	▲7.6

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

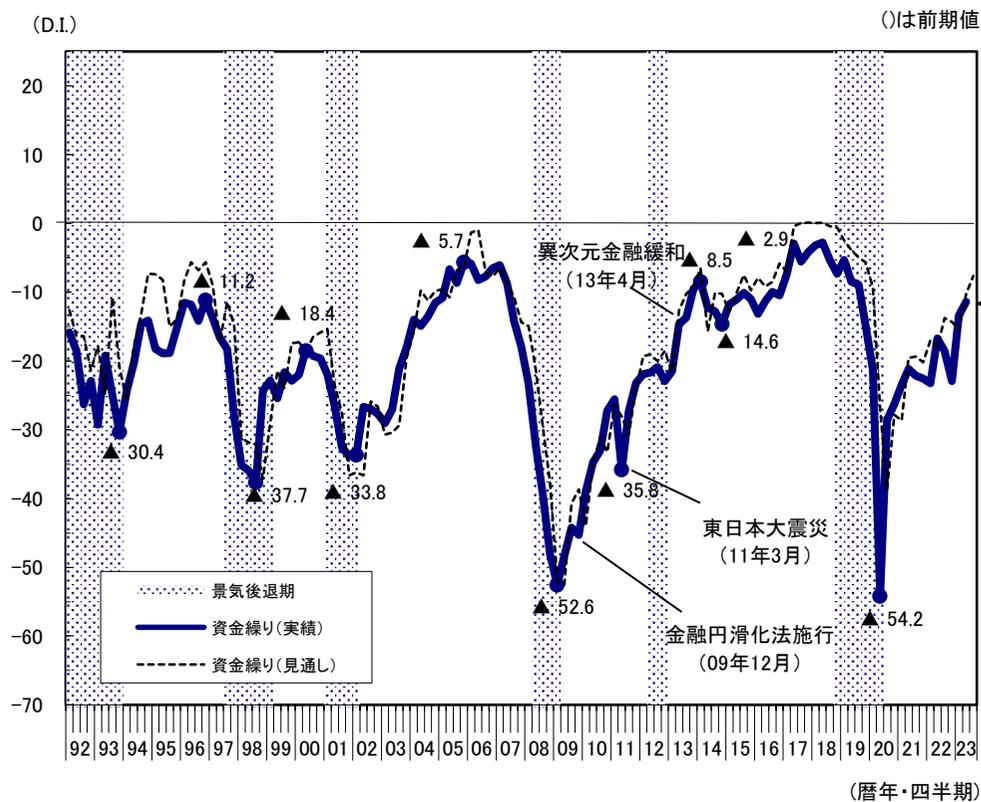
## (2) 借入難易感

・借入難易感D.I.は、▲6.8とマイナス幅がやや縮小した。  
来期の見通しについては、▲7.2となっている。

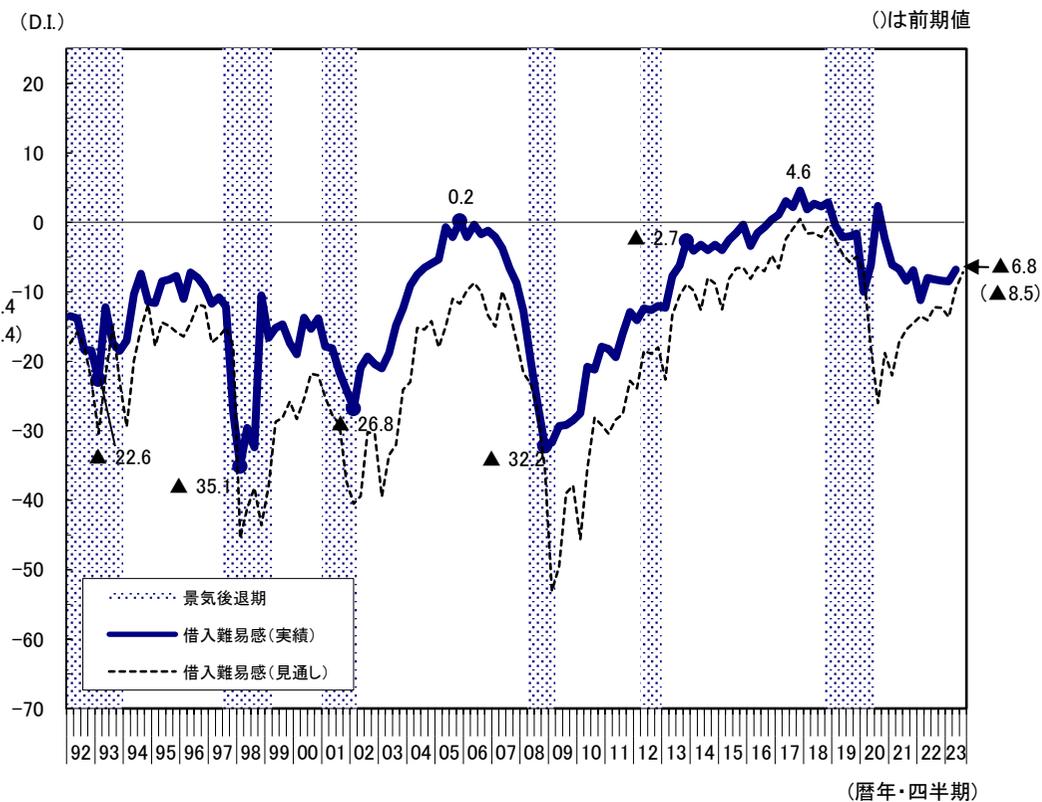
		2022/4-6	7-9	10-12	2023/1-3	4-6	7-9
借入難易感D.I.	実績	▲8.0	▲8.2	▲8.4	▲8.5	▲6.8	
	見通し	▲14.1	▲12.2	▲12.3	▲13.6	▲9.5	▲7.2

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

### 資金繰りD.I.(季節調整値)の推移



### 借入難易感D.I.の推移



### (3) 借入状況

・今期に借入を実施した企業の割合は、やや増加した。

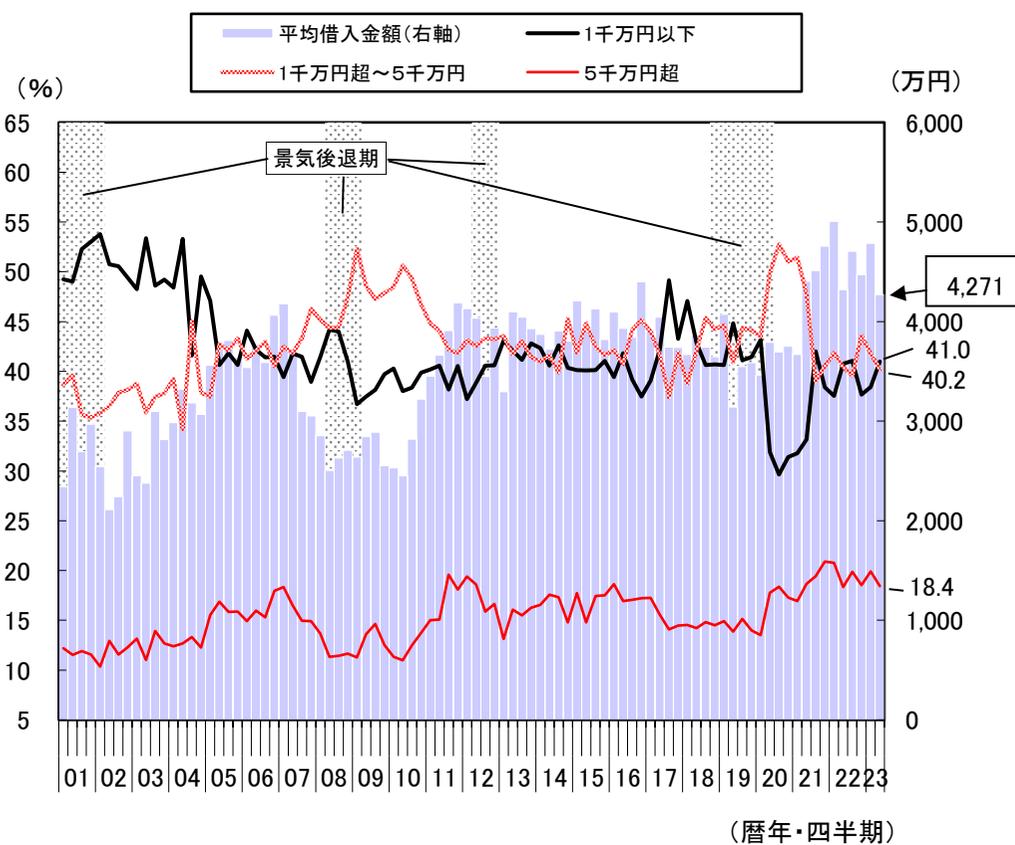
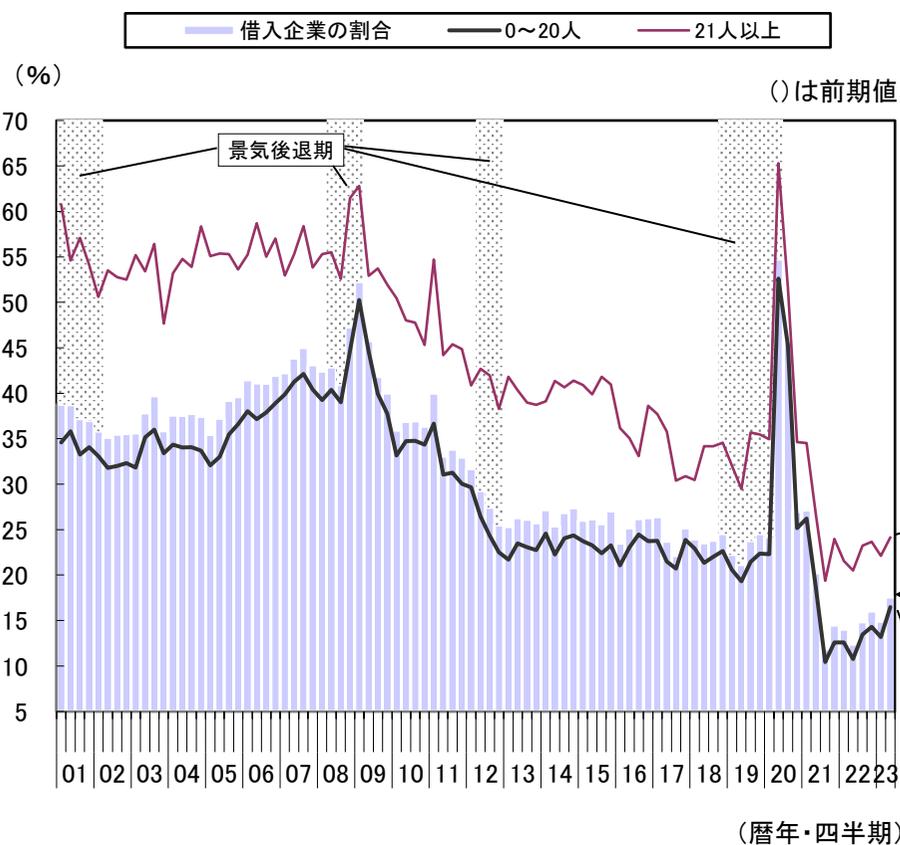
・一社あたりの借入金額別構成比は、「1千万円以下」がやや増加した一方で、「1千万円超～5千万円」及び「5千万円超」がやや減少した。

① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

	2022/4-6	7-9	10-12	2023/1-3	4-6
借入企業の割合	12.4	14.8	16.0	14.9	17.6
0-20人	10.8	13.5	14.3	13.2	16.5
21人以上	20.5	23.2	23.6	22.1	24.1

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

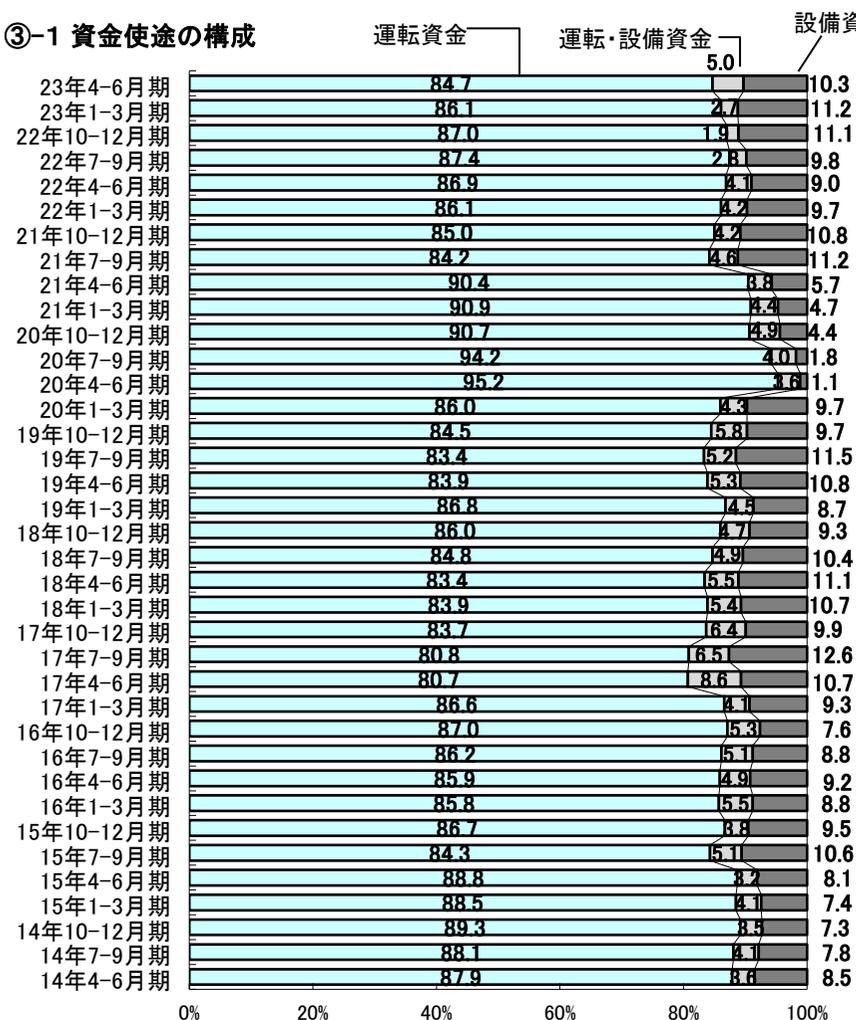
	2022/4-6	7-9	10-12	2023/1-3	4-6
1千万円以下	40.8	41.0	37.7	38.4	41.0
1千万円超～5千万円	40.5	39.6	43.6	41.8	40.2
5千万円超	18.4	19.9	18.5	19.9	18.4



(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

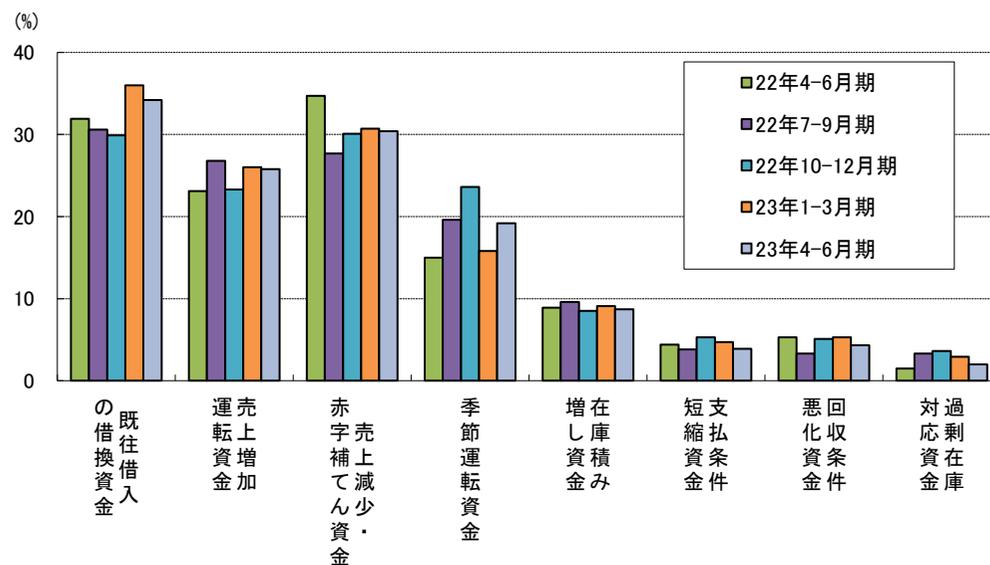
- ・資金使途の構成については、運転・設備資金の割合がやや増加した。
- ・運転資金の内訳では、「既往借入の借換資金」の割合がやや減少したものの、2期連続で最も高い割合となった。

③-1 資金使途の構成



③-2 運転資金の内訳 (原数値)

年	期	既往借入の借換資金	売上増加運転資金	売上減少・赤字補てん資金	季節運転資金	在庫積み増し資金	支払条件短縮資金	回収条件悪化資金	過剰在庫対応資金
23年	4-6月期	34.2	25.8	30.4	19.2	8.7	3.9	4.3	2.0
	1-3月期	36.0	26.0	30.7	15.8	9.1	4.7	5.3	2.9
22年	10-12月期	29.9	23.3	30.1	23.6	8.5	5.3	5.1	3.6
	7-9月期	30.6	26.8	27.7	19.6	9.6	3.8	3.3	3.3
	4-6月期	31.9	23.1	34.7	15.0	8.9	4.4	5.3	1.5



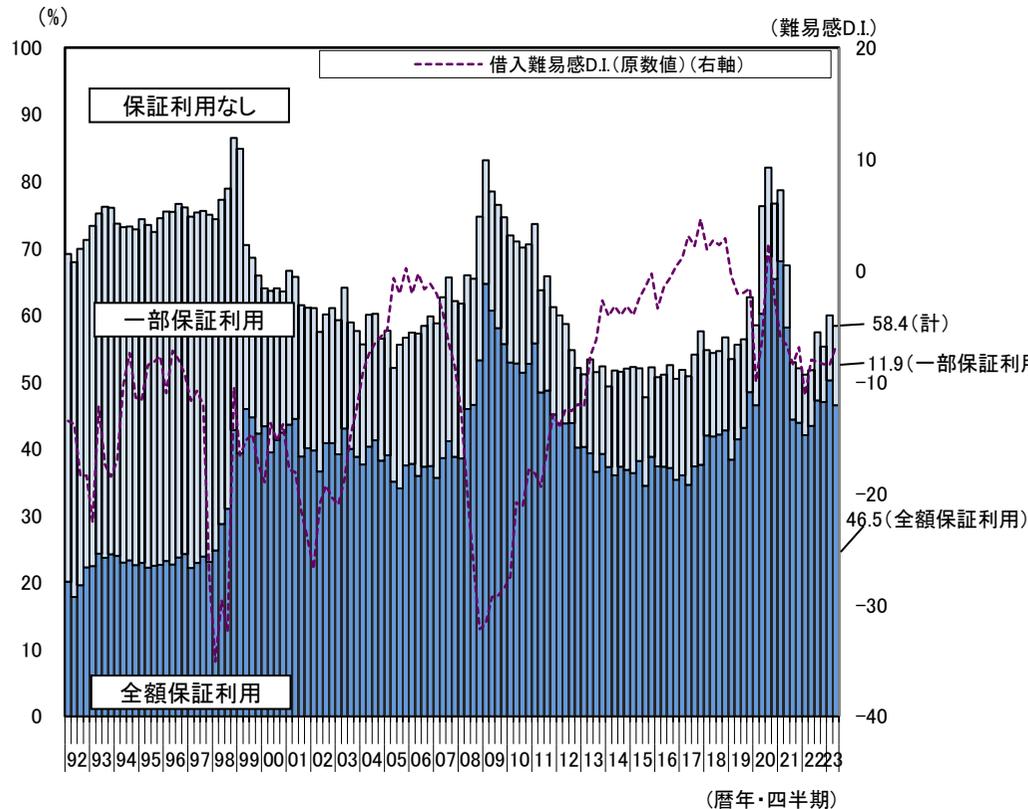
(注) 1.複数回答のため、合計は100を超える。  
2.「資金使途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

## (4) - 1 保証利用状況

・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや減少した。

	2022/4-6	7-9	10-12	2023/1-3	4-6
保証利用企業の割合	51.7	57.4	55.3	59.9	58.4
全額利用	43.4	47.2	47.0	50.2	46.5
一部利用	8.3	10.2	8.3	9.7	11.9
保証利用がない企業の割合	48.3	42.6	44.7	40.1	41.6

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(注)当該四半期中に新規借入を行った企業数について、「保証利用なし」、「保証付きの借入のみ(全額保証利用)」、「保証付きの借入と保証を利用しない借入を併用(一部保証利用)」の区分で集計したもの。

## (4) - 2 金融機関からの保証利用要請

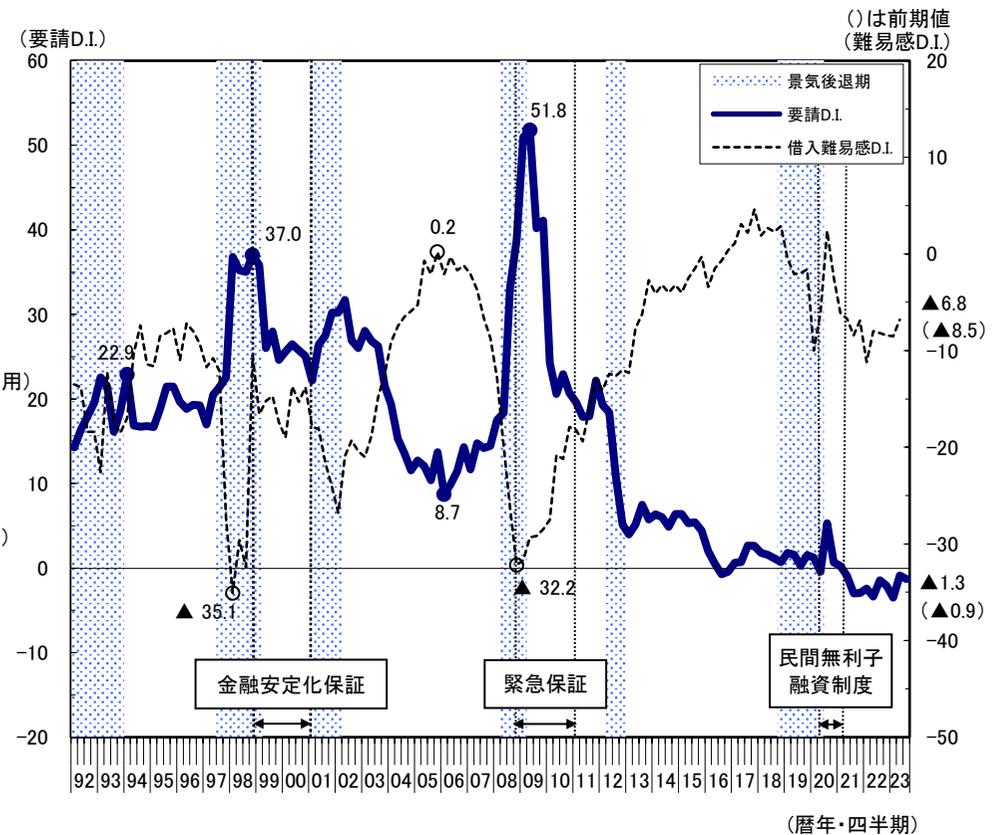
・来期(23年7~9月)における保証利用要請D.I.は、▲1.3と横ばいとなった。

	2022/4-6	7-9	10-12	2023/1-3	4-6	7-9
要請D.I. 見通し	▲3.4	▲1.4	▲2.1	▲3.5	▲0.9	▲1.3
借入難易感D.I. 実績	▲8.0	▲8.2	▲8.4	▲8.5	▲6.8	

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。

2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D.I.(季節調整値)及び借入難易感D.I.の推移





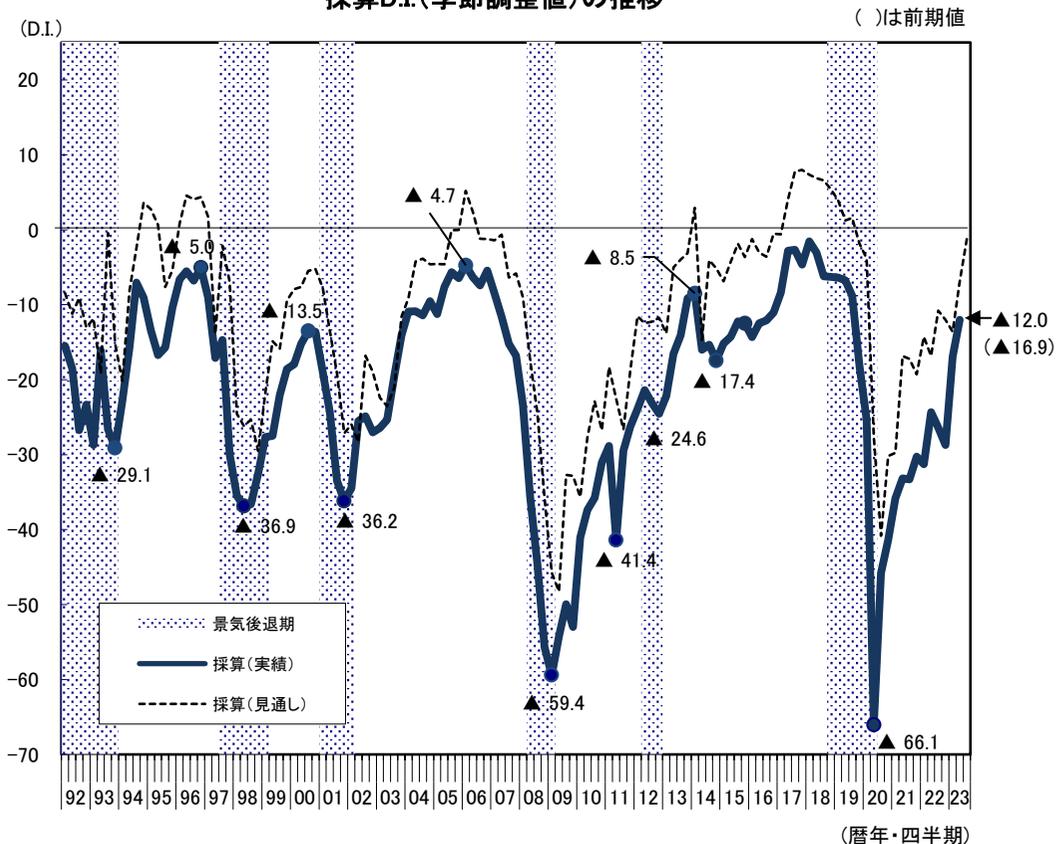
## (6) 採算

・採算D.I.は、▲12.0とマイナス幅がやや縮小した。  
来期の見通しについては、▲1.2となっている。

		2022/4-6	7-9	10-12	2023/1-3	4-6	7-9
採算D.I.	実績	▲24.3	▲26.4	▲28.7	▲16.9	▲12.0	
	見通し	▲16.8	▲10.8	▲12.0	▲13.6	▲7.0	▲1.2

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

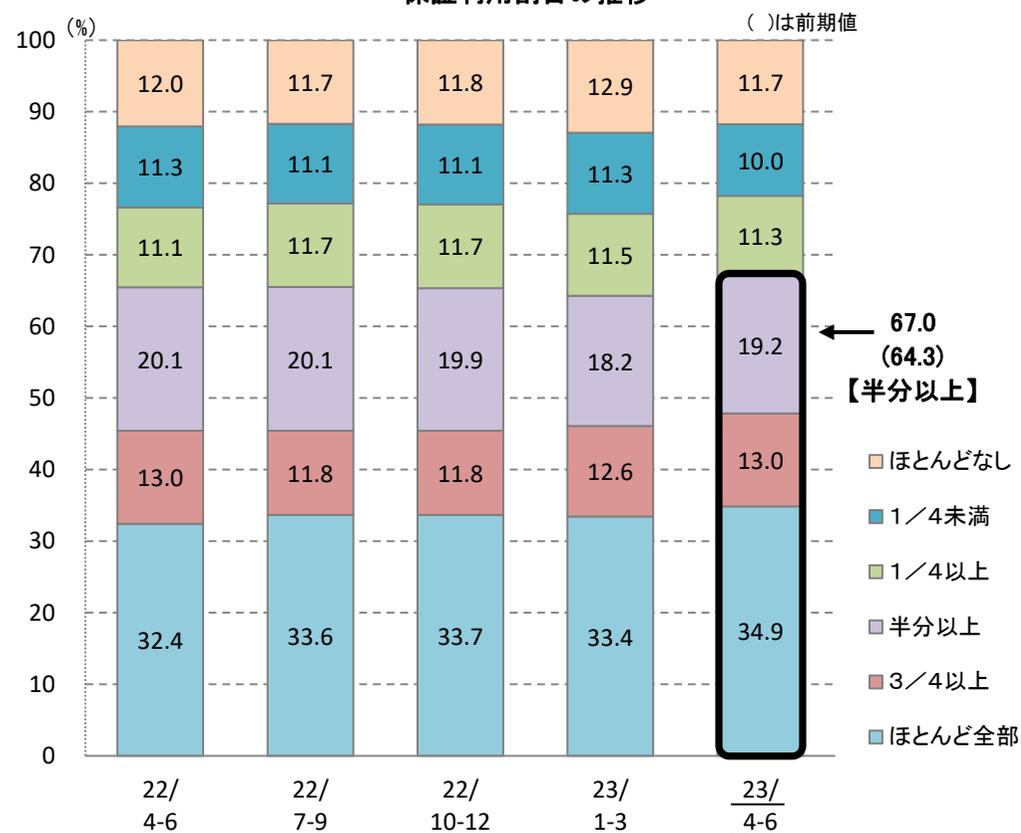
### 採算D.I.(季節調整値)の推移



## (参考) 保証利用割合

・借入総残高に占める保証利用の割合については、半分以上と回答した企業が67.0%となっている。

### 保証利用割合の推移



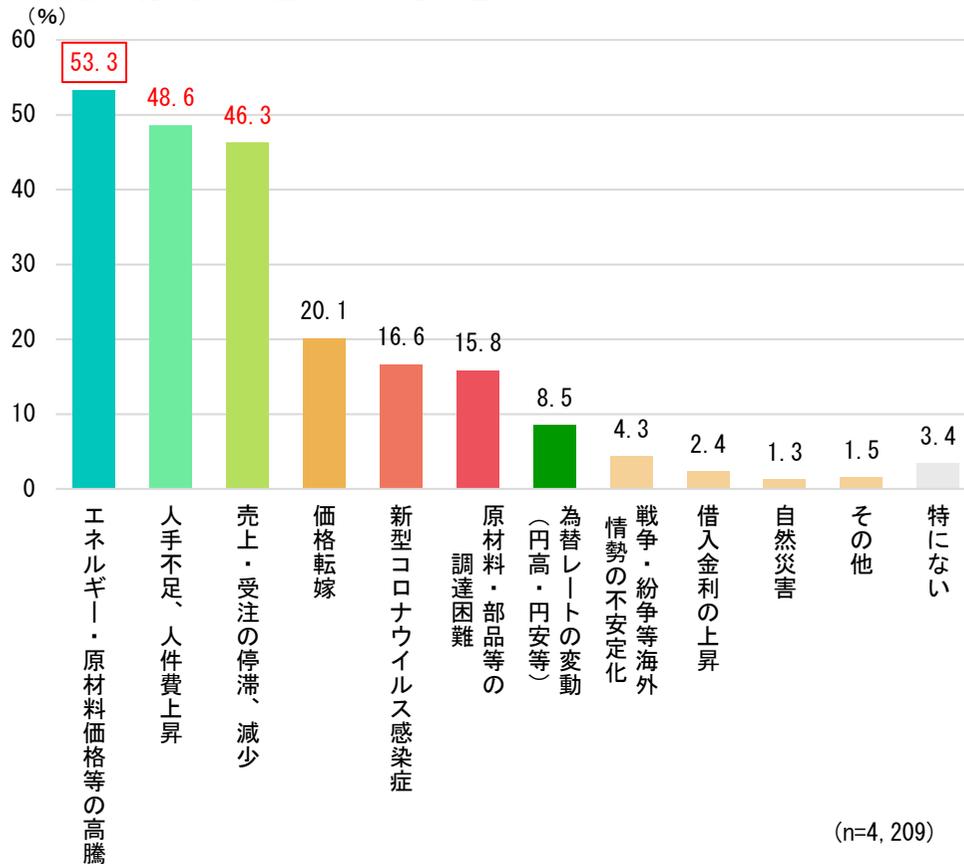
## 特別調査

経営環境において直面している課題及びメインバンクとの対話状況等について

### 1. 経営環境において直面している課題について

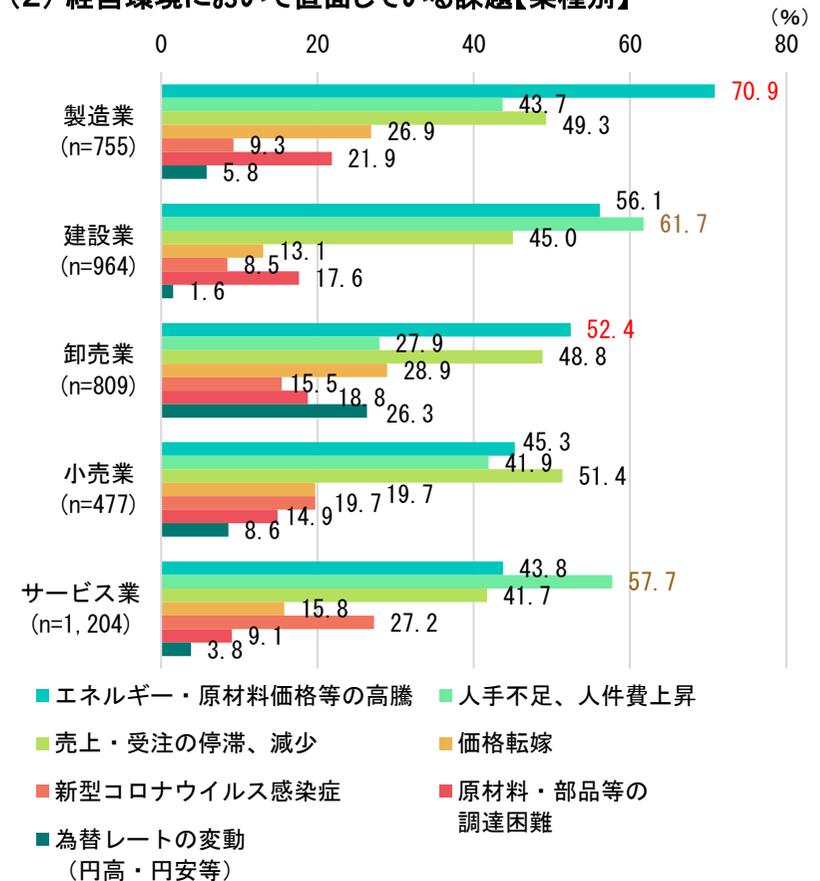
- ・経営環境において直面している課題については、「エネルギー・原材料価格等の高騰」が53.3%と最も多く、次いで「人手不足、人件費上昇」(48.6%)、「売上・受注の停滞、減少」(46.3%)の順になっている。
- ・業種別にみると、製造業、卸売業では「エネルギー・原材料価格等の高騰」が最も多く(製造業70.9%、卸売業52.4%)、建設業、サービス業では「人手不足、人件費上昇」が最も多い(建設業61.7%、サービス業57.7%)。

(1) 経営環境において直面している課題



(注)3つまで回答可のため、合計は100%を超える。

(2) 経営環境において直面している課題【業種別】



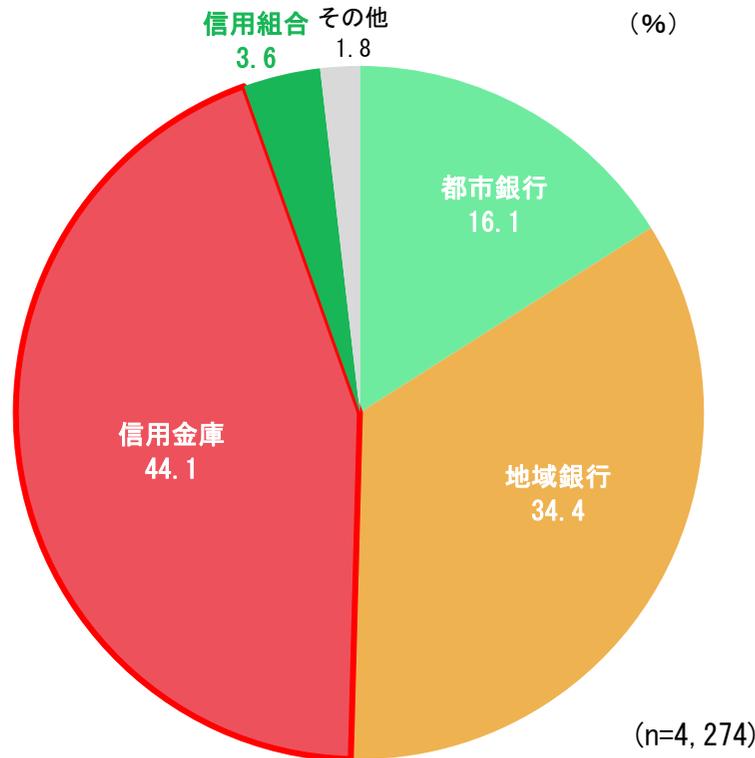
**特別調査**

経営環境において直面している課題及びメインバンクとの対話状況等について

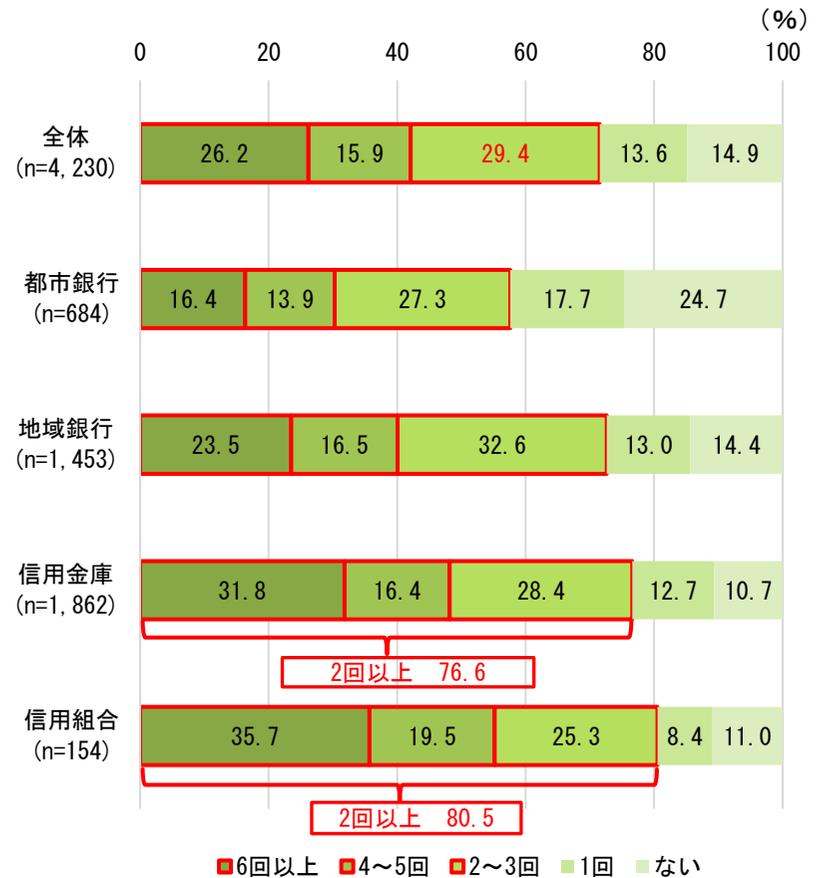
2. メインバンクとの対話状況等について

- ・保証利用企業のメインバンクについては、「信用金庫」が44.1%と最も多く、次いで「地域銀行」(34.4%)、「都市銀行」(16.1%)の順になっている。
- ・メインバンクとの対話頻度(2023年1月～6月の間)については、「2～3回」が29.4%と最も割合が高く、小規模な金融機関業態ほど2回以上対話している割合が高くなる傾向がうかがえる(信用組合80.5%、信用金庫76.6%)。

(1) 保証利用企業のメインバンク



(2) メインバンクとの対話頻度(2023年1月～6月の間)【業態別】



(注1) 都市銀行: 都市銀行及び信託銀行  
 (注2) 地域銀行: 地方銀行及び第二地方銀行  
 (注3) 対話: 訪問、面談、電話、オンライン等の手段により、金融機関と対話したものをいう

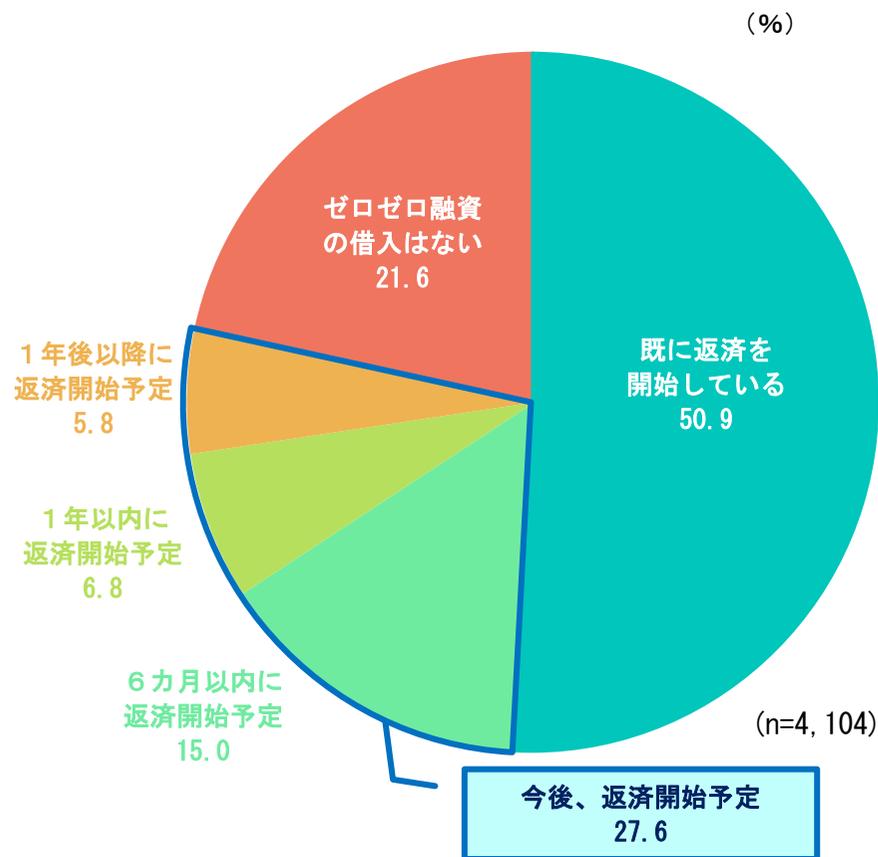
**特別調査**

経営環境において直面している課題及びメインバンクとの対話状況等について

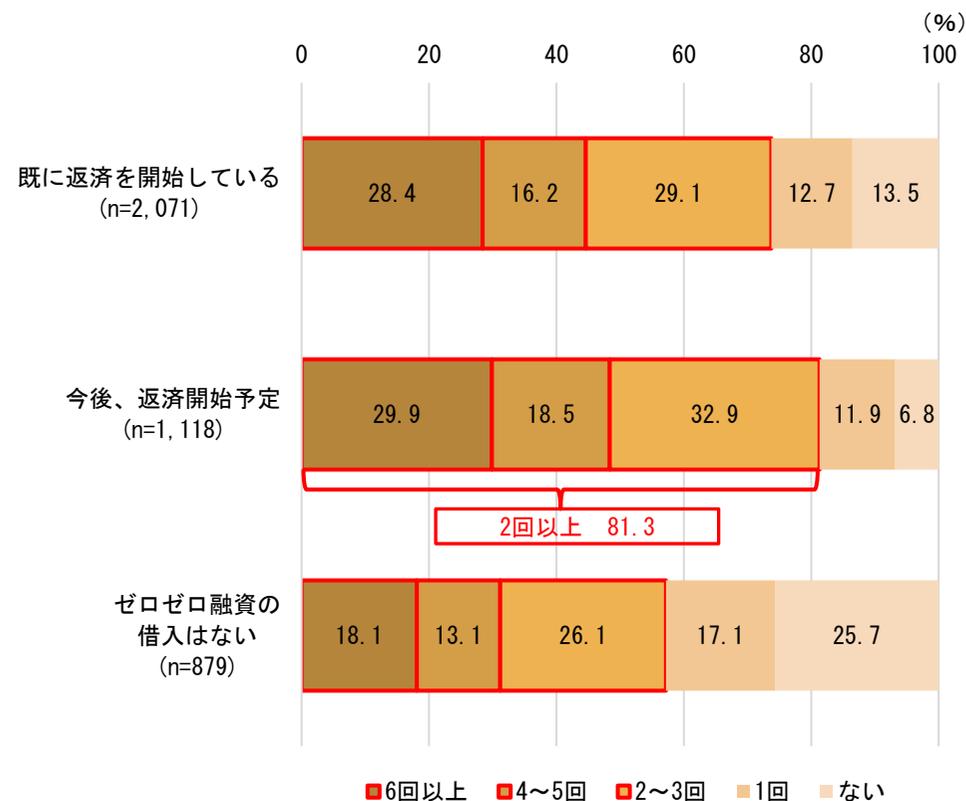
2. メインバンクとの対話状況等について

- ・メインバンクからのゼロゼロ融資\*の借入状況については、「既に返済を開始している」が50.9%、「今後、返済開始予定」は27.6%となっている。
- ・メインバンクとの対話頻度(2023年1月～6月の間)については、ゼロゼロ融資借入状況別にみると、「今後、返済開始予定」は2回以上対話している割合が81.3%と最も高い。

(3)メインバンクからのゼロゼロ融資の借入状況



(4)メインバンクとの対話頻度(2023年1月～6月の間)【ゼロゼロ融資借入状況別】



(注)ゼロゼロ融資:2020年5月に創設された民間金融機関における実質無利子・無担保のコロナ関連融資のことであり、国が保証料補助・利子補給を行う融資制度を指す。

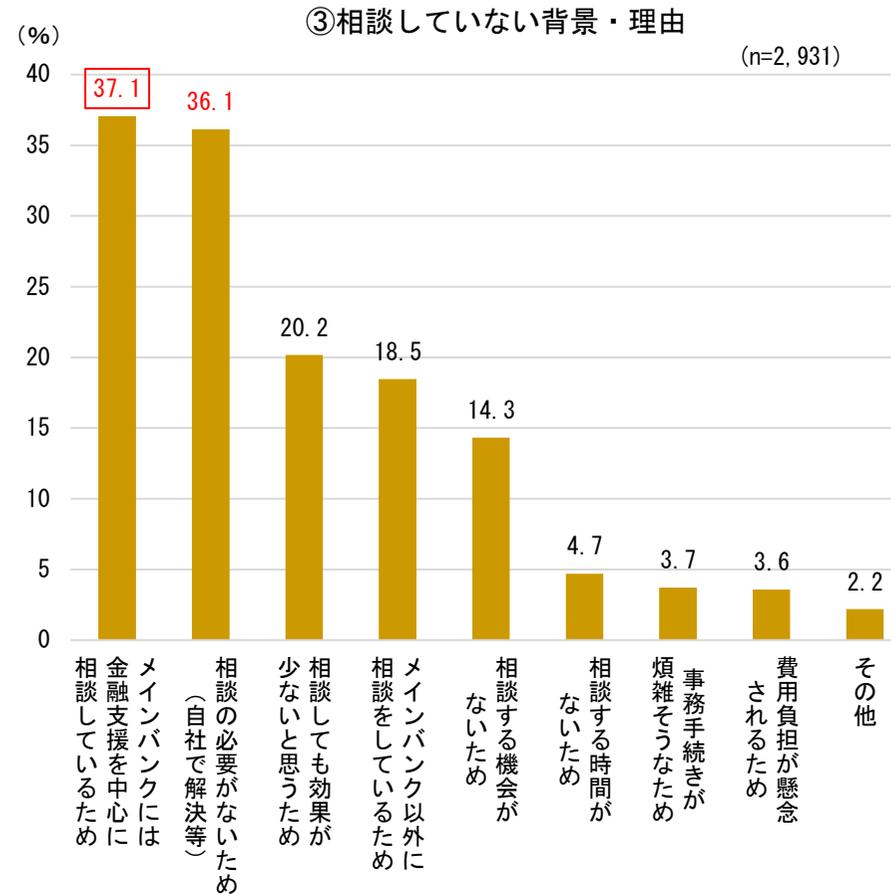
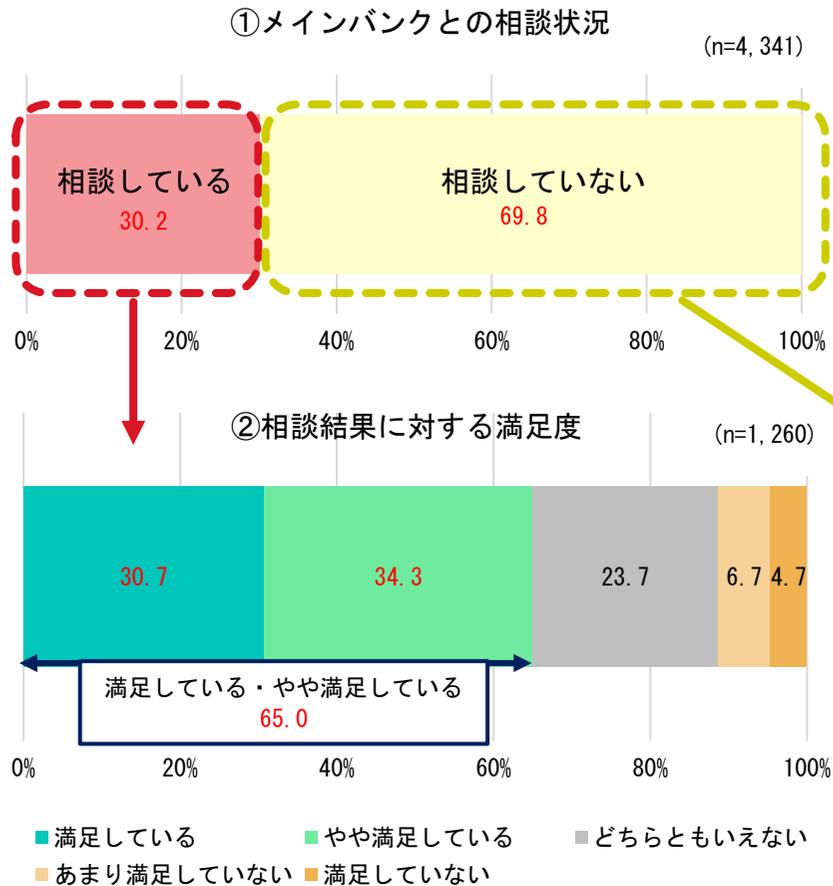
## 特別調査

経営環境において直面している課題及びメインバンクとの対話状況等について

### 2. メインバンクとの対話状況等について

- ・メインバンクとの経営支援に関する相談状況については、「相談している」が30.2%、「相談していない」が69.8%となっている。
- ・「相談している」と回答した企業における相談結果に対する満足度については、「満足している」及び「やや満足している」を合わせた割合が65.0%となっている。
- ・「相談していない」と回答した企業における相談していない背景・理由については、「メインバンクには金融支援を中心に相談しているため」が37.1%と最も多く、次いで「相談の必要がないため(自社で解決等)」(36.1%)の順になっている。

#### (5) メインバンクとの経営支援に関する相談状況



(注)3つまで回答可のため、合計は100%を超える。

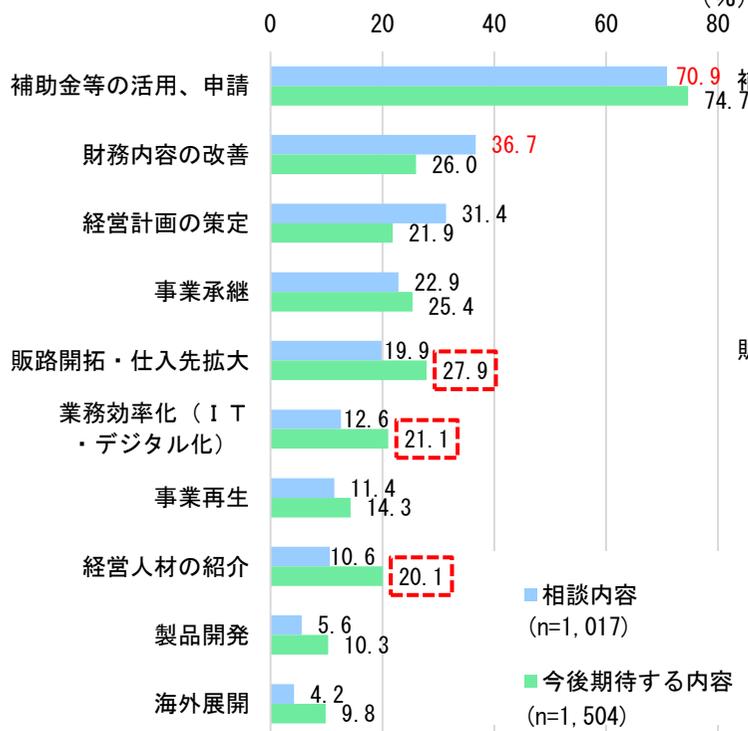
**特別調査**

経営環境において直面している課題及びメインバンクとの対話状況等について

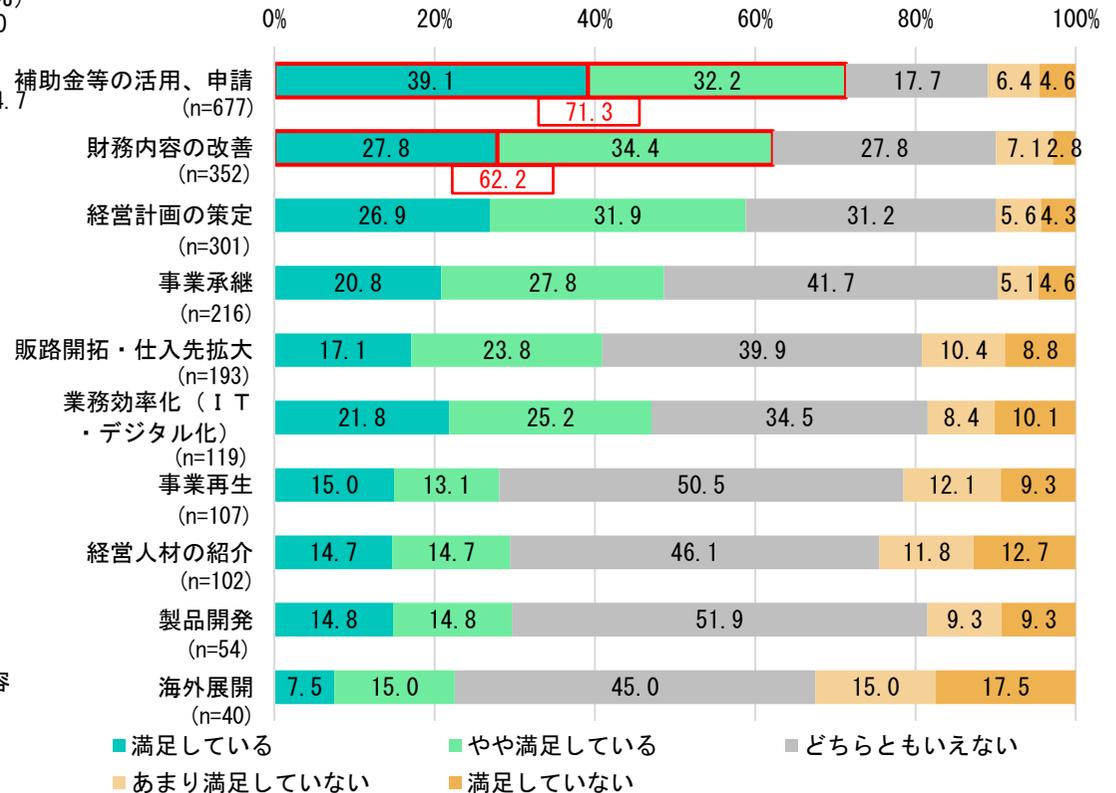
2. メインバンクとの対話状況等について

- ・メインバンクに相談している、個々の支援内容(相談内容)については、「補助金等の活用、申請」が70.9%と最も多く、次いで「財務内容の改善」(36.7%)の順になっている。
- ・今後期待する内容については、「販路開拓・仕入先拡大」、「業務効率化(IT・デジタル化)」、「経営人材の紹介」の割合が、相談内容の割合よりも顕著に高くなっている。
- ・個々の支援内容に関する相談の満足度については、「補助金等の活用、申請」及び「財務内容の改善」が、「満足している」及び「やや満足している」で6割以上となっており(補助金等の活用申請71.3%、財務内容の改善62.2%)、概ね相談が多い支援内容ほど、満足度が高くなる傾向がうかがえる。

④ 個々の支援内容（相談内容、今後期待する内容）（%）



⑤ 個々の支援内容に関する相談の満足度



(注)複数回答可のため、合計は100%を超える。